

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆生成型AI、対面型AIなどが生活場面で賑わっている。ChatGPTを覗いてみた。

※下記はChatGPTへ問い合わせ、システムが自動応答した文章ですので、そのまま配信しています。

◆生成型AIとは何か

生成型AI (Generative AI) とは、機械学習の一分野で、人工知能によって自動生成されたデータやコンテンツを指します。

生成型AIは、大量のデータを学習し、その学習に基づいて新しいデータを生成することができます。例えば、自然言語処理の分野では、文章や対話文を生成することができます。画像生成の分野では、例えば人工的に作り出された風景画像や、架空のキャラクターのイメージなどを生成することができます。

生成型AIは、芸術やエンターテインメント、広告、設計などの分野での活用が期待されています。一方で、生成されたデータが真実味を帯び、信頼性の低い情報が拡散される可能性があるため、倫理的な問題も議論されています。

◆対面型AIとは何か

対面型AI (Conversational AI) は、人工知能技術を用いて、人間と自然な会話を行うことができるAIのことを指します。対面型AIは、主に音声認識技術や自然言語処理技術、音声合成技術を用いて、音声による対話を実現することが多いですが、テキストベースの対話にも利用されています。

対面型AIは、顧客サポート、情報提供、営業支援、医療診断、教育など、様々な分野で活用されています。例えば、顧客サポートの分野では、人工知能によって対応が可能な問い合わせに対応することで、オペレーターの負荷を軽減し、サポートの効率化が図られるようになってきています。

対面型AIは、自然な会話を行うために、常に学習を続けることが求められます。そのため、対面型AIは、ユーザーとの対話の中で学習する「強化学習」や、大量のデータを利用して学習する「教師あり学習」などの機械学習技術を活用して、自己学習を行うことが多く、性能の向上が期待されています。

◆協働とは何か

協働 (きょうどう) とは、複数の人々や組織が協力し、共同で目標を達成することを指します。協働は、単なる協力と異なり、相手との信頼関係を築きながら、互いに貢献し合い、より高次の目的を達成するために、長期的に連携して取り組むことを意味します。

協働には、組織間の協働や、個人間の協働など、様々な形態があります。例えば、産業界では、異なる企業が技術や情報を共有し、新しい製品やサービスの開発に取り組むことが協働として行われます。また、地域社会においては、住民や地元企業が協力して、まちづくりや地域活性化に取り組むことが協働として行われます。

近年、協働は、社会課題の解決に向けて、より一層注目されています。社会課題は、単一の組織や個人では解決できない場合が多く、異なる分野や利害関係者が協働することで、より効果的な解決策が見出されることが期待されています。

まだまだ使うには色々問題がありますが、新時代の一つの動きとして捉えるべき分野とみるべきでしょう。(西山)

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動 (受託事業・企画事業・出版事業) のタイムリーな情報をいち早く多くの方々にご提供いただく為に発信しております。(お問い合わせは shienkikaku@bso.co.jp まで)